

平成 17 年 11 月 21 日

各 位

会社名 大豊建設株式会社  
代表者名 代表取締役社長 内田 興太郎  
(コード番号 1822 東証第1部)  
問合せ先 管理本部 取締役総務部長 石亀 昭夫  
(TEL 03- 3297- 7000)

## 業績予想の修正および特別損益の発生に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 5 月 16 日に公表した平成 18 年 3 月期中間業績予想の修正および特別損益の計上について下記のとおりお知らせいたします。

### 業績予想の修正

#### 1. 平成 18 年 3 月期中間業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)

##### (1) 連結業績予想数値

(単位 : 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	60,100	1,000	1,900
今回修正予想 (B)	58,800	400	1,200
増減額 (B - A)	1,300	600	700
増減率 (%)	2.2%	60.0%	36.8%
前期実績 (平成 17 年 3 月期中間)	62,550	1,191	1,045

##### (2) 個別業績予想数値

(単位 : 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	49,000	900	1,400
今回修正予想 (B)	50,000	950	1,390
増減額 (B - A)	1,000	50	10
増減率 (%)	2.0%	5.6%	0.7%
前期実績 (平成 17 年 3 月期中間)	40,738	992	841

#### 2. 修正の理由

連結業績につきましては、売上高は連結子会社において減少したため前回予想を 13 億円下回る見込ですが、売上総利益の増加及び営業譲受関連損益の好転等により経常利益は 6 億円改善される見込です。また、貸倒引当金戻入益 1 億円を特別利益に計上することにより、中間純利益は前回予想より 7 億円増加する見込です。

個別業績につきましては、売上高は建築工事の増加により前回予想を 10 億円上回る見込ですが、売上総利益は伸び悩み、経常利益及び中間純利益はほぼ予想どおりとなる見込です。

上記の予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

### 特別損益の計上

平成 18 年 3 月期中間決算において、「固定資産の減損に係る会計基準」適用に伴い、当社および当社グループが保有する事業用固定資産を対象に減損処理を行った結果、減損損失として個別で 7.6 億円、連結で 7.7 億円を、また、取引先に対する貸倒引当金 1.6 億円 (個別・連結同額) を特別損失に計上する予定です。一方、貸倒引当金戻入益として個別で 0.4 億円、連結で 1 億円を特別利益に計上する予定です。

以 上